

単元名 変そう曲を楽しもう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解することができる。
 (2) 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070306_001

【教材名】ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章（鑑賞） ます（鑑賞）（P. 58～P. 59）

【準備等】鑑賞CD，ワークシート

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章を聴き、主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを捉え、変奏曲を楽しむ。</p> <p>○学習課題をつかむ。</p> <p>★変そう曲を楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を聴き、変奏曲について理解をする。 <p>○シューベルトについて知る。</p> <p>○主題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を聴いたり、ピアノに合わせて口ずさんだりして旋律を覚える。 <p>○ピアノ五重奏曲の楽器編成を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオリン…全長約60cm 高音部を受けもつ ・ビオラ…大きさはバイオリンよりやや大きく、厚みがある 中音部を受けもつ ・チェロ…大きさはバイオリンの2倍、楽器を支えるエンドピンを立てて座って演奏をする 音域が広い ・コントラバス…全長約2m 最低音域を受けもつ ・ピアノ…弦をハンマーで叩くことで発音する鍵盤楽器 88鍵あり広い音域をもつ <p>○ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章を聴き、変奏曲について理解する。</p> <p>2 主題や伴奏がどのように変化しているのかを探りながら曲想を感じ取る。</p> <p>○各変奏の特徴を感じ取りながら、聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題の部分を歌う。 ・主題を変奏している楽器の音色や音の重なりを気をつけながら、第1変奏から第3変奏を聴く。 ・旋律やリズム、調性、強弱の変化を感じ取りながら、第4変奏、第5変奏、コーダを聴く。 ・各変奏の特徴など、感じ取ったことをワークシートに記入する。 <p>○主題の旋律の移り変わりや様々な楽器の重なり合う響きを味わいながら、第4楽章を通して聴く。</p> <p>主題 バイオリン 第1変奏 ピアノ 第2変奏 ビオラ 第3変奏 チェロ・コントラバス</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の組み合わせや曲想の変化を記入できるワークシートを用意する。 ・変奏曲とは主題が変奏（旋律のリズム、拍子、旋律、調子、和声などを変えたり、様々な装飾を付けるなどして変化すること）される曲である。音源があれば「きらきら星変奏曲（モーツァルト作曲）」や「正露丸（胃腸薬）の主題による変奏曲（マルセル・ケンツビッチ作曲）」を聴かせるとイメージをつかみやすい。 ・写真や伝記、インターネットを活用してもよい。 <p>【資料】シューベルトは「歌曲の王」と言われる。他の作品に「子守歌」「魔王」「アヴェマリア」などがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノやリコーダーで演奏したものを聴かせ印象付ける。 <p>・P. 58の写真を活用して、楽器編成の説明をする。弦楽器4種類とピアノの編成であることを確認する。また、楽器の形や大きさ、奏法についても説明する。</p> <p>【資料】一般に、ピアノ五重奏は弦楽四重奏（バイオリン2，ビオラ，チェロ）にピアノが加わる演奏形態となる。しかし、この楽曲では、バイオリンを一つにし、その代わりにコントラバスを加えている。そのため、低音の響きが一層充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題がどのように変わっていくのか、主題を演奏している楽器は何かを考えさせながら聴かせる。 <p>【共通事項】旋律 音色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな様子で「ます」が泳いでいるのか想像をさせながら聴かせてもよい。 <p>【資料】ピアノ五重奏曲は第5楽章からなる。第4楽章がシューベルト作曲の歌曲「鱒」の旋律による変奏曲であるために、「鱒」（ます・独：Die Forelle）という副題が付いた。</p> <p>【評】曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム、強弱の変化、速度、音色、調性など聴くためのポイントを示す。 ・歌曲「ます」の歌詞は、ますを釣り上げようとする釣り人との様子を書いたものである。釣り竿で水をかき混ぜて濁らせ、ついにますを釣り上げる様子が、変奏曲の曲想の変化によく表れている。 ・第1変奏に現れるピアノの主題はトリルや装飾音が加えてあり、華やかな印象となっている。 ・第2変奏では主題に遅れて応答するピアノや新しい旋律の動き（バイオリン），第3変奏の32分音符のピアノの華やかな旋律、第4変 |

第4変奏 主題の旋律は現れない
 第5変奏 チェロ
 コーダ バイオリン・チェロ

○ 楽曲全体のよさや特徴をワークシートにまとめ、発表し合う。

奏の主題を追いかける旋律などに注目させてもよい。

- ・ 第4変奏では転調の部分に注意を促す。短調によって生じる緊張感や長調に戻ることによって生じる緩和の効果を味わわせる。

【共通事項】変化

【評】変奏曲を聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・ 歌曲「ます」を聴かせ、ピアノ五重奏曲のコーダで、同じピアノ伴奏形が用いられていることや、楽器と歌声との響きの違いを味わせてもよい。

【評】主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】